

H30 都立府中東高校 BOXING部

●平成30年度 関東高等学校ボクシング大会 ●平成30年度 関東高等学校女子ボクシング大会

4月28日～30日に行われた関東高校東京都代表選考会の結果、本校からは下記3名が出場することになりました。

女子バンタム級 星野千梨菜(3年)
女子フェザー級 星野佳亜奈(1年)
男子ウェルター級 天野亮太(2年)

東京都の男子は選手層が厚く、代表のほとんどは全国でも団体入賞を何度も果たす全国常連校であり、名門校の駿台学園高校。本校から出場の天野を除く4名は駿台と同じく全国常連校の日出高校、女子は本校から2名、駿台学園から2名、日体大桜華高校から1名が出場しています。

関東大会東京都代表選手団



- 男子ウェルター級B 天野亮太(2年) 初戦敗退
1回戦 対 松永敦朗選手(千葉県:習志野高校) 1-4ポイント負
- 女子バンタム級 星野千梨菜(3年) 優勝
準決勝 小澤梨子選手(埼玉県:花咲徳栄高校) 1R1'06"RSC勝
決勝 德里実奈美選手(神奈川県:横浜総合高校) 5-0ポイント勝
- 女子フェザー級 星野佳亜奈(1年) 第3位
準決勝 松持亜美選手(栃木県:作新学院高校) 1R0'27"RSC負

●戦評

祝!女子バンタム級 星野千梨菜 関東大会優勝!!

●男子W級Bの天野は、先手、手数之差があり、1Rを取られました。2R、インターバルでの指示を受け、手数を増やしたところ、相手からカウントを取りました。再開後、ここから、というところでカウントを取られ、一進一退の展開に。この日一番の盛り上がりと言ってもいい声援と歓声でした。2Rは手数、的確さを考えると天野が取りました。3R勝負となりましたが、3Rを取られポイント負け。気持ち、手数、3Rが運命の分かれ道でしたが、今一步及ばなかった展開、反省です。3Rの気持ち次第では勝ってもおかしくない内容でした。相手は全国常連の習志野高校。この後松永選手は優勝しました。天野も実力はついてきています。今後に期待です。

●女子B級星野千梨菜は準決勝から出場。相手は花咲徳栄高校の小澤選手。名門校であり侮れませんが、内容はワンサイドでした。終始ストレートでポイントを取り、RSCで試合を終わらせました。

決勝の相手は昨年度全日本女子選手権バンタム級2位の德里選手。実力があるのはわかっています。全国ランキング1位同士(德里選手バンタム級、千梨菜フライ級)の対決です。

展開は前に出てくる德里選手を終始ストレートで中にいれず、ストレートでポイントを重ねる形となり、フルマークで千梨菜が勝ちました。全国レベルの相手に集中力を切らさず自分の形に持ち込んだのが勝因です。

●女子Fe級星野佳亜奈も準決勝から出場。相手は栃木県作新学院の松持選手。全国大会に出ている選手です。1ラウンド開始から打ち合いの展開となりました。体格に勝る松持選手に足を止め、その場で打ち合ってしまったため、松持選手のパンチが佳亜奈をとらえ、RSC負けとなりました。少しでも前に出ながら、頭をずらしながら、と工夫すれば少し違った展開もあったかもしれません。しかし先輩相手の打ち合いにずるずる下がることなく真っ向から打ち合った負けは次に生きるはずです。今後に期待です。

